

第11回 静岡市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日時 令和2年11月20日（金）8:30～9:15

会場 静岡庁舎新館8階 市長公室・テレビ会議室

次 第

1 開会

2 感染症患者の発生状況等 【保健福祉長寿局】

3 本部長指示

4 閉会

第11回 静岡市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 出席者一覧

日 時 令和2年11月20日（金） 8：30～9：15

場 所 静岡庁舎新館 8階 市長公室…………①

駿河区役所 3階 テレビ会議室…②

清水庁舎 3階 テレビ会議室…③

出席者

1	危機対策本部長	市長	①
2	危機対策副本部長	小長谷副市長	①
3	危機対策副本部長	本田副市長	①
4	主管危機対策本部員	危機管理統括監	①
5	危機対策本部員（常任）	危機管理総室長	①
6	危機対策本部員	教育長	③
7	危機対策本部員	政策官	①
8	危機対策本部員	総務局長	①
9	危機対策本部員	企画局長	①
10	危機対策本部員	財政局長	①
11	危機対策本部員	市民局	①
12	危機対策本部員	葵区長	①
13	危機対策本部員	駿河区副区長 ※代理出席	②
14	危機対策本部員	清水区長	③
15	危機対策本部員	観光交流文化局長	①
16	危機対策本部員	環境局次長 ※代理出席	①
17	危機対策本部員	保健衛生医療統括監 ※代理出席	①
18	危機対策本部員	子ども未来局長	③
19	危機対策本部員	経済局長	③
20	危機対策本部員	都市局長	①
21	危機対策本部員	建設局長	①
22	危機対策本部員	会計管理者	①
23	危機対策本部員	消防局長	②
24	危機対策本部員	上下水道局長	①
25	危機対策本部員	教育局長	③
26	危機対策本部員	議会事務局長	①
27	オブザーバー	選挙管理委員会事務局長	①
28	オブザーバー	人事委員会事務局長	①
29	オブザーバー	監査委員事務局長	①
30	オブザーバー	農業委員会事務局長	③

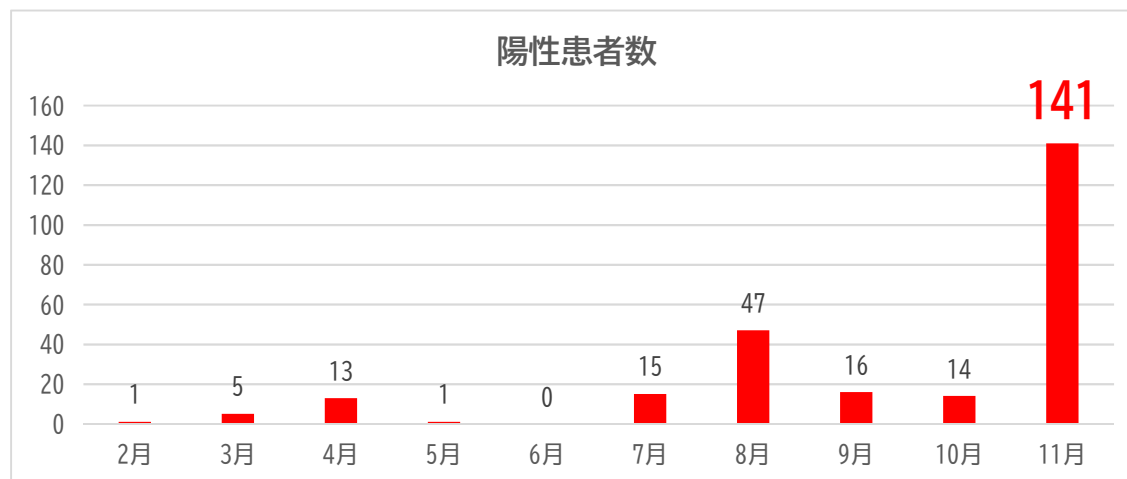
新型コロナウイルス感染症患者発生状況等について

R2.11.20(金) 保健福祉長寿局

◆市内の新型コロナウイルス感染症の状況について

1 感染症患者発生状況（11/19 現在）

(1)患者発生数 延べ 253 人 11/18 に38人(過去最多)、11/19 に32人発生



※クラスター 延べ 9 件発生（下線部は 11 月に発生）

（飲食店1、工場1、住居1、繋がりの濃い集団1、カラオケを伴う飲食店 4、病院1）

※11 月は過去最大の発生状況（第3波到来）

(2)第2波以降の特徴

- ・第1波は中高年、第2波は20代、第3波は20～40代が中心
- ・軽症が多数を占めるが、無症状病原体保有者が増加
- ・推定感染経路は、濃厚接触者、感染流行地域由来が多いが、感染経路不明も増加
- ・飲食店を介した感染が3割弱、食後の歓談での感染事例も増加

【市内4例目クラスターの特徴】

- ・一日のうちの多くの時間を共に過ごすような繋がりが強い集団
- ・集団内での会話でマスクをしていないことがあった
- ・日常的に家族でない複数人が居室の一室で1時間以上の会食をしていた

【市内5, 6, 7, 9例目クラスターの特徴】

- ・業態別ガイドラインに沿った予防対策をとっていない部分が多い
（マスク着用、シールド設置、換気不十分、密回避等）
- ・来店客の予防意識も低かった
（マスク着用、密回避等）

【市内8例目クラスターの特徴】

- ・病院スタッフ(看護師・医療事務員)や患者の集団感染
- ・感染経路は詳細調査中だが、院内感染の可能性

2 入院状況（11/12 現在）

入院中:34 人（軽症者等療養施設利用者含む）

症状や家庭環境により自宅療養となる場合もあり

3 帰国者・接触者相談センターの相談受付件数等（11/12 現在）

									(単位:件)	
開設日	～5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	備考	
2/11	9,051	707	1,156	1,436	686	642	364	14,042	1日最大270件(4/20)	

このほかに他市・空港検疫所からの健康観察等フォローアップ依頼が急増している。

50 人/日→70～80 人/日(10 月下旬)→100 人以上(10 月末～) 毎日電話等で確認し国等報告

4 帰国者・接触者外来受診者数（11/12 現在）

									(単位:件)	
開始日	～5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	備考	
2/18	263	13	30	36	17	9	27	395	1日最大15件(4/20)	

このほかに陽性確定後の入院・宿泊療養の診断や濃厚接触者受診あり

年末年始も毎日 1 カ所は開設予定

5 PCR 検査実施人数（11/12 現在）

									(単位:件)	
開始日	～5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	備考	
1/30	1,547	321	543	813	462	663	316	4,665	1日最大125件(5/1)	

11月に入り検査人数は増加し、中旬以降急増中

20 件程度→50 件程度(11/10)→80 件(11/12)

このほかに医療機関が実施する遺伝子検査や抗原検査により、検査機会は格段に増加している。

6 PCR センター運営状況 各区1ヶ所 計3ヶ所設置（11/18 現在）

										(単位:人)	
	開設日	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	備考	
葵（水・木・土）	5/21	11	27	52	141	67	62	64	424	1日最多25人(11/14)	
駿河(月～金)	5/14	22	29	159	206	89	72	212	789	1日最多35人(11/16)	
清水(月・火・木)	5/14	10	33	59	91	36	31	51	311	1日最多20人(11/16)	
3区計		43	89	270	438	192	165	327	1,524	1日最多55人(11/16)	

11月中旬になり1会場あたりの実施人数が急増、年末年始も毎日 1 カ所は開設予定

7 軽症者・無症状者療養施設

軽症者・無症状病原体保有者を、医療機関医師の判断をもと入所させ、療養へとつなげる。

中部(155 室) ホテル東横イン静岡駅北口

西部(68 室)・東部(156 室)にも整備

市内4例目の集団感染（クラスター）の概要

11月19日時点

学校

合計：20人
陽性：3人
(No. 131, 140, 163)
陰性：17人

会社

合計：4人
陽性：4人
(No. 138, 150, 179, 208)

工場A

合計：39人
陽性：15人
(No. 118, 121, 122, 123, 127, 132,
133, 134, 135, 136, 139, 146,
147, 148, 160)
陰性：24人

合計：9人 (+5)
陽性：9人 (+5)
(No. 128, 178, 188, 194
235, 236, 237, 238, 250)

工場B

合計：1人
陽性：1人
(No. 192)

工場C

合計：4人
陽性：4人
(No. 149, 189, 190, 193)

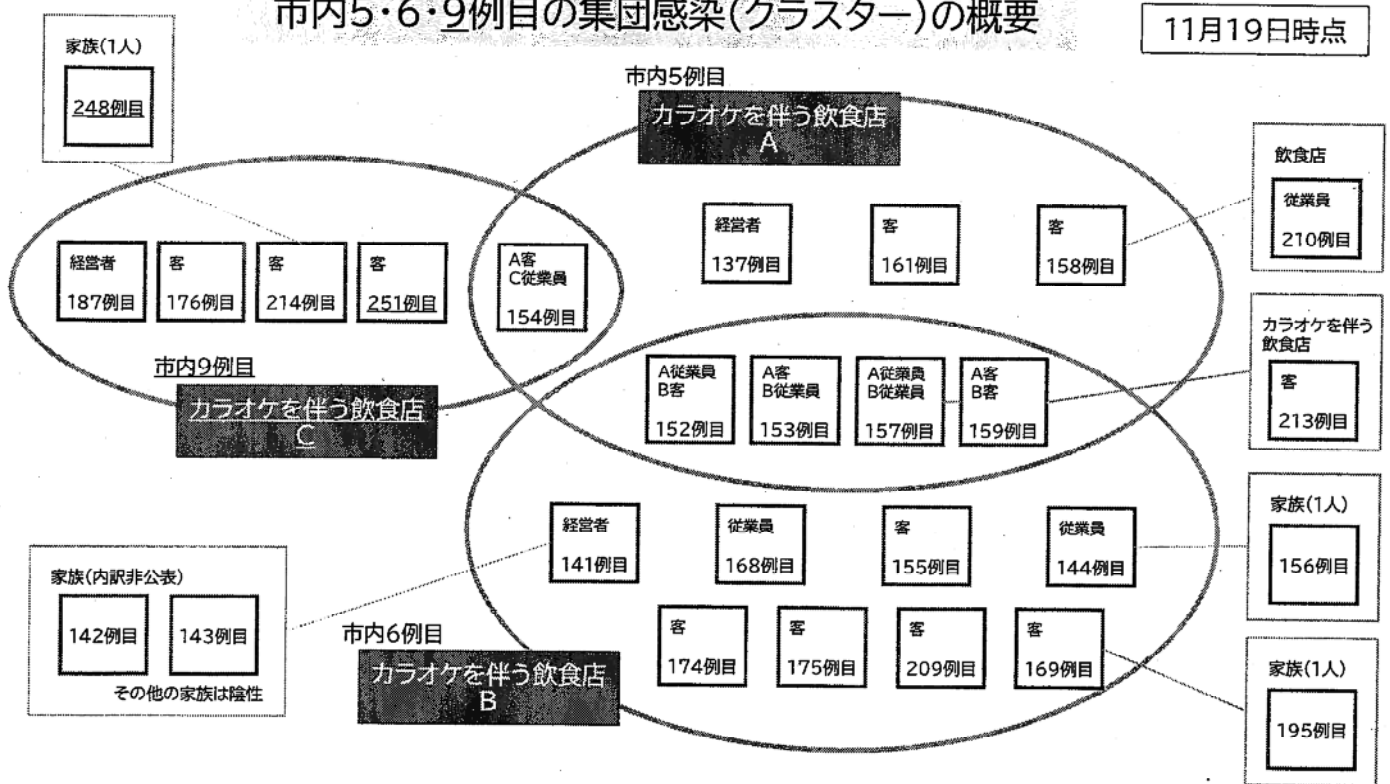
該当する学校・工場
には通っていない人

合計：5人
陽性：1人
(No. 191)
陰性：4人

合計：82人 (+5)
陽性：37人 (+5)
陰性：45人

市内5・6・9例目の集団感染(クラスター)の概要

11月19日時点

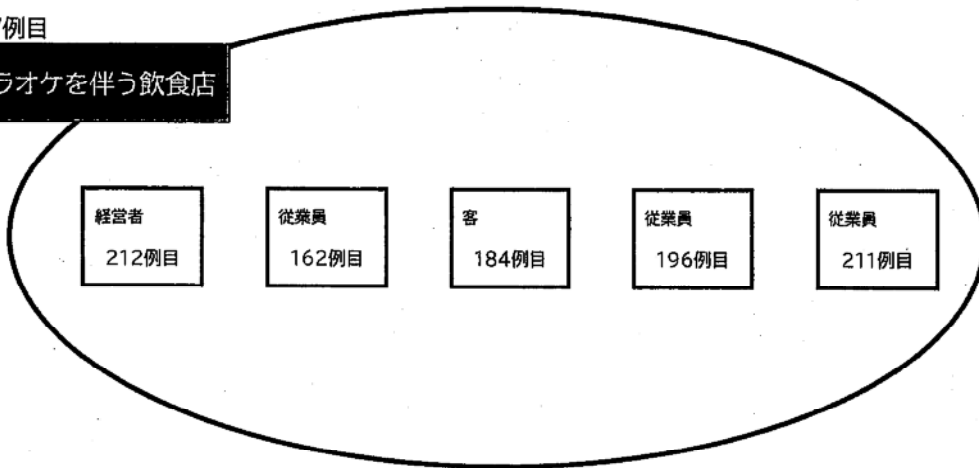


市内7例目の集団感染(クラスター)の概要

11月18日時点

市内7例目

カラオケを伴う飲食店

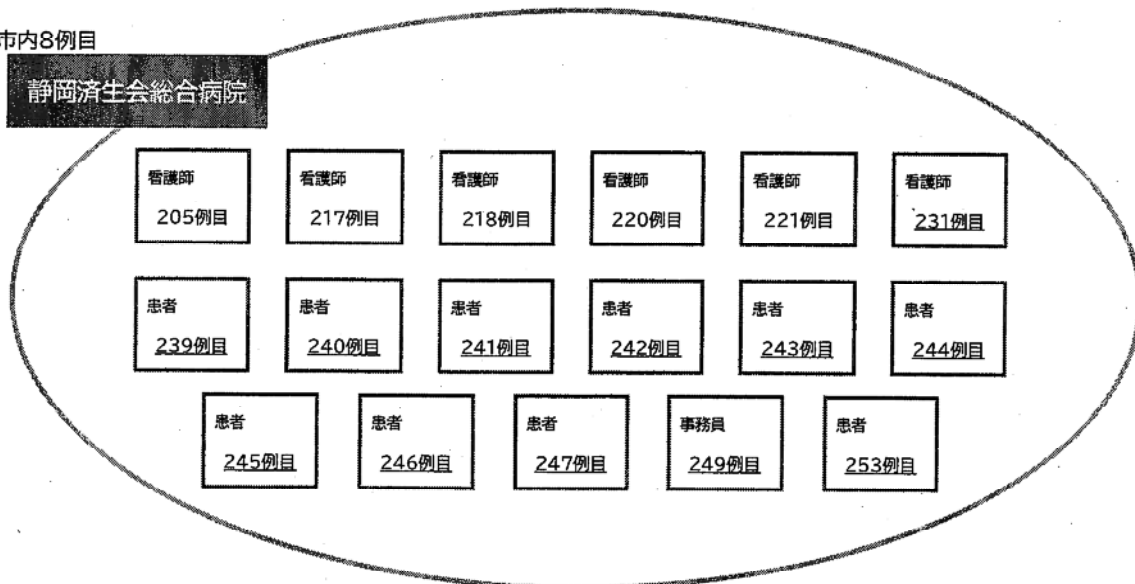


市内8例目の集団感染(クラスター)の概要

11月19日時点

市内8例目

静岡済生会総合病院



新型コロナウイルス感染拡大についての市長コメント

新型コロナウイルス感染症が全国的に再び感染拡大している状況の中で、本市でも新規感染者が急増し、本日、過去最多 38 人の新規感染と 2 つのクラスターが確認されました。

中でも、新型コロナウイルス感染症対策に多大なる御尽力をいただいている静岡済生会総合病院においてクラスターが確認されたことを非常に重く受け止め、強い危機感を感じております。市民の皆さんも不安に感じられているかと思いますが、本市として、病院に対する必要な支援を行い、引き続き、感染拡大防止に連携して取り組んでまいります。

また、本市における直近のクラスターの発生は、一部の飲食店で業種別ガイドラインに基づく感染防止対策が徹底されていなかったこと、繋がりの強い集団内において、日常生活における基本的な対策が徹底されていなかったことによるものです。

終わりの見えない新型コロナウイルス感染症との闘いの中で、一部の飲食店や市民の皆さんにも気の緩みが生じ、感染症対策を怠ってしまったことが、感染拡大に結びついていると思われる。

社会経済活動を止めないためには、事業者の皆さんにも、市民の皆さんにも感染症対策を徹底していただくしかありません。

改めて、生命(いのち)と生活(くらし)、2 つの Life を守るため、新しい生活様式の徹底、感染リスクの高まる 5 つの場面での感染予防に、皆さんの御協力をお願いいたします。

令和 2 年 11 月 18 日

静岡市長 田辺信宏

分科会から政府への提言

感染リスクが高まる「5つの場面」と「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」

令和2年10月23日（金）

新型コロナウイルス感染症対策分科会

緊急事態宣言を解除後、ほぼ半年が経過しようとしている。今冬をしっかりと乗り越えるためには、これまでの対策について評価することが必要である。

新型コロナウイルス感染症は、屋外で歩いたり、十分に換気がされている公共交通機関での感染は限定的であると考えられる。本感染症の伝播は、主にクラスターを介して拡大することから、今冬に備えるためには、クラスター連鎖をしっかりと抑えることが必須である。

9月25日の分科会では感染リスクを高めやすい「7つの場面」を示した。その後、各自治体とのヒアリングなどを通してクラスターの分析がさらに進んだことから、今回、「5つの場面」に整理し、提示することにした。

さらに、飲酒を伴う会食においてクラスターの発生が多く見られていることから、「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を取りまとめた。

政府においては、「感染リスクが高まる5つの場面」及び「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を、国民・社会に幅広く伝わるよう発信して頂きたい。

感染リスクが高まる「5つの場面」

【場面1】 飲酒を伴う懇親会等

- ・飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- ・特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- ・また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。

【場面2】大人数や長時間におよぶ飲食

- ・長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- ・大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

【場面3】マスクなしでの会話

- ・マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- ・マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- ・車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

【場面4】狭い空間での共同生活

- ・狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- ・寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

【場面5】居場所の切り替わり

- ・仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- ・休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

<利用者>

- ・飲酒をするのであれば、①少人数・短時間で、
②なるべく普段一緒にいる人と、
③深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で。
- ・箸やコップは使い回さず、一人ひとりで。
- ・座の配置は斜め向かいに。（正面や真横はなるべく避ける）
（食事の際に、正面や真横に座った場合には感染したが、斜め向かいに座った場合には感染しなかった報告事例あり。）
- ・会話する時はなるべくマスク着用。（フェイスシールド・マウスシールド※¹はマスクに比べ効果が弱いことに留意が必要※²。）
※¹ フェイスシールドはもともマスクと併用し眼からの飛沫感染防止のため、マウスシールドはこれまで一部産業界から使われてきたものである。
※² 新型コロナウイルス感染防止効果については、今後さらなるエビデンスの蓄積が必要。
- ・換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドライン★を遵守したお店で。
- ・体調が悪い人は参加しない。

<お店>

- ・お店はガイドライン★の遵守を。
（例えば、従業員の体調管理やマスク着用、席ごとのアクリル板の効果的な設置、換気と組み合わせた適切な扇風機の利用などの工夫も。）
- ・利用者に上記の留意事項の遵守や、
接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードを働きかける。

【飲酒の場面も含め、全ての場面でこれからも引き続き守ってほしいこと】

- ・基本はマスク着用や三密回避。室内では換気を良くして。
- ・集まりは、少人数・短時間にして。
- ・大声を出さず会話はできるだけ静かに。
- ・共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒の徹底を。

★従業員で感染者が出たある飲食店では、ガイドラインを遵守しており、窓を開けるなど換気もされ、客同士の間隔も一定開けられていたことから、利用客（100名超）からの感染者は出なかった。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



(参考) 7月以降のクラスター等の発生状況の推移

分類(件)	7月	8月	9月	10月 ※10月21日時点で公表されている 件数
接待を伴う飲食店	47	41	23	17
会食	37	37	21	19
職場	86	100	80	55
学校・教育施設等	42	80	44	25
医療・福祉施設等	56	194	79	46
その他	53	71	68	31
総計	321	523	315	193

* 報道等情報を元に内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室において作成。